

## 5月26日アナリスト向け決算説明会質疑応答（2017年3月期決算）

- Q. 18.3期の業績予想で固定費の増加を見込んでいるが具体的な内容は何か。
- A. 懸架ばねセグメントと精密部品セグメントを中心に、中期経営計画を視野に入れ積極的な投資を計画している。
- Q. HDD用サスペンションのシェアの現状と今後の動きを教えてください。
- A. 現状でシェア35～36%程度。今後も高品質と低コストの両立によりシェアを伸ばしていきたい。
- Q. シート業界に再編の動きが見られるが影響をどのようにとらえているか。
- A. 独立系として技術力・営業力・購買力を生かし、拡販に結びつけていきたいと考えている。
- Q. 懸架ばねセグメントは中期経営計画の中で営業利益の伸びが小さいが、理由は何か。
- A. 研究開発等の投資に伴う固定費の増加が影響している。
- Q. 為替の感応度を下げるような具体的な取組みがあれば教えてください。
- A. 為替動向に応じた円転、為替予約の実行、グループ会社への融資に対する通貨の最適化、材料の支払いを円払いから外貨払いへ変更等を実施している。
- Q. タイ、アセアン、インドへ事業展開している中、今後どのような体制をとっていくのか。
- A. アセアンに、営業拠点を設けるかどうか検討している段階である。
- Q. 中期経営計画に込める想いについて教えてください。
- A. 特に、海外拠点の収益力を上げていきたいと考えている。
- Q. 中期経営計画期間中にHDD用サスペンションの生産拠点に変更はないか。
- A. 現時点では、変更は考えていない。
- Q. シート製品における技術力、強みを教えてください。
- A. 軽量化に対応するため、ハイテン材、超ハイテン材を使用したスタンピング技術、鉄とアルミを接合させるような異材接合技術、自動運転化対応等、これらに対する研究開発を実施している点が強みだと考えている。
- Q. 株主還元の一環として配当性向および自社株買いの考え方について教えてください。
- A. 配当性向は中期経営計画で30%程度を目指している。自社株買いについては、現時点で計画は無いがフリーキャッシュフローを見ながら検討していきたい。

以上